

自衛隊削減の影響

市内には、戦車や火砲など、今後、削減が予想される部隊がありますが、今のところ、市内に所在する部隊に大きな改編はありません。

ほかの市町村で行われている部隊の改編は、自衛官の数を急減させ、その地域に大きな影響を与えています。そこで国は、地域への影響を考え、千歳のように改編されていない部隊から改編された部隊への自衛官の配置換えを行っています。

その結果、部隊の改編がない千歳でも自衛官の数はこの1年間で200人近く減少しています。家族を含めると自衛隊関係者の人口はかなり減少していること

になります。

市の財政は、自衛隊関係からの収入にその多くを依存しています。その額は、国から入る防衛施設周辺整備事業費と自衛官が納付する個人市民税を合わせて約52億円となり、市の決算額約467億円の11パーセントを占めています（平成18年度）。市内に住宅を所有している方は固定資産税を納めているので、その額はさらに多くなります。

また、平成19年の1年間の自衛官の消費支出額と部隊の維持・物販費は合わせて約463億円で、市内の商品販売額約1千675億円の27・6パーセントにもなっています。

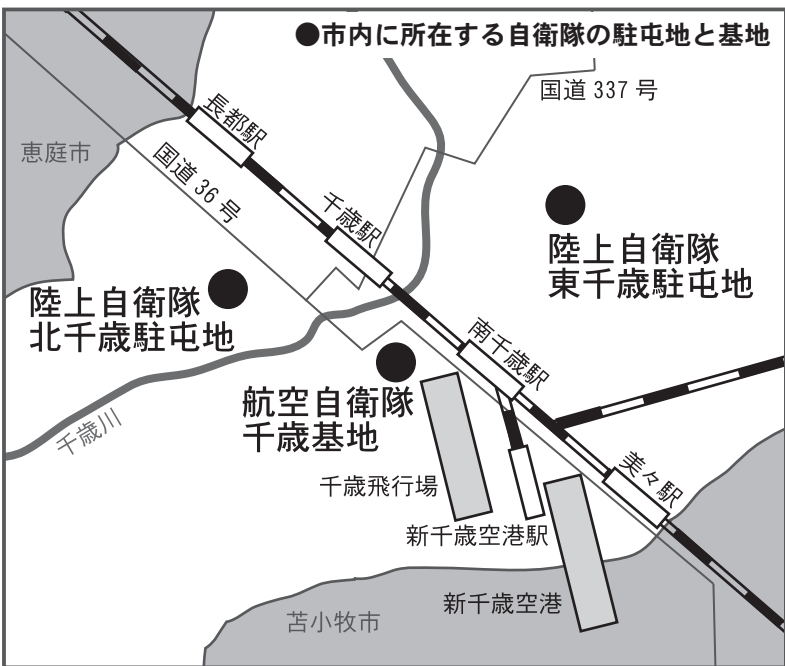
このように自衛隊は、千歳の経済とも密接に関係しています。

もし、500人規模の部隊が削減されたときは、1年間で個人市民税が7千万円以上、消費支出額が27億円以上それぞれ減少することが予想されます。

部隊の削減は、千歳の経済やまちづくりに大きな影響があります。

さらに、私たちは地元で部隊があるおかげで、災害時などに自衛隊の支援をすみやかに受けることができます。また、自衛官の皆さんは、町内会の役員や少年団の指導者など、地域活動に積極的に参加している方が多くいます。

部隊の削減により、こうした自衛隊の支援を受けにくくなり、地域の活動が停滞したりすること考えられます。



【自衛隊と千歳のまちづくりとの関わり】

●市の財政



国から交付されるお金
(防衛施設周辺整備事業費 年間約40億円)



自衛官が納める市税
(個人市民税など)
(年間12億円以上)

●経済活動



自衛官の消費支出額
(年間約432億円)



部隊の維持費や部隊内の物販費など
(年間約31億円)

●人や組織の力



地元で部隊があることで
災害出動などの支援を
すみやかに受けられる



自衛官は町内会などの
地域活動に積極的に貢献
する方が多い



自衛隊の部隊の削減は…

- 人口減 ●市税の減収
- 消費行動の減少
- 地域活動の停滞 など…

まちづくりのさまざまな活動を
停滞させます。